

# 10月の農作業管理

柑橘

指導販売課

## 「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

### 1. 日焼け果・大玉果・小玉果の徹底除去

#### ○日焼け果

夏場の高温で日焼け果が多くなっています。日焼け果の混入は、価格の低下につながります。目につき次第、もぎ落としましょう。(果梗枝の基部より除去)

#### ○大玉果

高糖系(大津四号、青島温州)においては、10月上旬の時点で65mm以上の果実は大玉(3L以上)になります。果梗枝の基部より除去しましょう。

#### ○小玉果

内なり、裾なり、下垂枝を中心にまだまだ多くの小玉果が着果しています。樹上選果で徹底的にもぎ落としましょう。

### 2. 品質向上・浮皮軽減対策

品質向上・浮皮軽減対策を徹底して高品質果実生産に努めましょう。

対象品種…普通、高糖系(大津四号、青島温州) 時期…10月上中旬  
薬剤…マイルドカルシウム600倍、リンクエース2,000倍

### 3. 秋肥の施用

秋肥は樹勢の回復、翌春の着花・発芽に備えた貯蔵養分の蓄積のために重要な肥料です。必ず施用しましょう。(基準量は栽培カレンダー37ページを参照ください)

### 4. 腐敗防止剤の散布

腐敗果の混入は、生産者・産地としての販売に対する取り組み姿勢が疑われます。果実1個1個の丁寧な取扱を行うと同時に、腐敗防止剤の散布を徹底しましょう。

極早生、早生の腐敗防止剤(トップジンM水和剤)の効果は約20日程度です。適期に散布しましょう(使用時期は収穫前前日まで可能です)

### 5. 病虫害防除

時期	品種	散布目的	薬剤名	希釈倍数	使用時期(収穫前)
中旬	早生	腐敗防止剤	トップジンM水和剤	2,000倍	収穫前日
	中生以降	アカダニ(応急)	スターマイトフロアブル	3,000倍	7日前まで
下旬	中生	腐敗防止剤	ベフトップジンフロアブル	1,500倍	7日前まで
	太田 <sup>®</sup> ソカ	ミドリヒメヨコバイ	ロディー乳剤	2,000倍	7日前まで

※ミドリヒメヨコバイの防除は着色がはじまってから

## 6. ゆめほっぺ(せとみ)の管理

### 1) 仕上げ摘果の徹底

摘果ノギスを活用し小玉果の除去を徹底しましょう。

### 2) 袋かけ前の管理・袋かけの徹底

袋かけ前に腐敗防止剤の散布 ベフトップジンフロアブル 1, 500倍  
鳥害・寒害被害軽減を目的に11月上旬から11月下旬までに袋かけを実施

### 3) 新梢管理

(来年度着花する園=果実をならす園)

○摘芯や夏秋梢の処理をしないで放任する

○樹勢の強い樹は亜主枝単位で誘引する 時期は9月~10月

(来年度着花しない園=樹をつくる園)

○夏枝から発生した秋枝は2本程度に整理する

4) 秋肥の施用 施用時期 ○極早生、早生 10月中旬

○中生、普通、高糖系、中晩柑 10月下旬

基準施用量 柑橘有機配合1号 4袋/10a

3~4年生の幼木及び高接1年目...基準の1/2

5~6年生の幼木及び高接2年目...基準の3/4

苗木 1年生: 柑橘有機配合1号 60~70g/樹

2年生: 柑橘有機配合1号 70~90g/樹

### 落葉果樹

	病害虫	防除薬剤	土壌改良剤と秋肥の施用
西条柿	ハマキムシ類	スミチオン乳剤 1,000倍 (10月中旬)	
キウイ	貯蔵病害	ストロビードライフロアブル 2,000倍 (10月下旬)	柑橘有機配合1号 4袋/10a(10月下旬)
梅	苦土石灰 4袋/10a、柑橘有機配合1号 3袋/10a(10月下旬)		

### 野菜

土が乾くと、苗の生育が悪くなりますので、乾燥した日が続く場合は灌水をおこないましょう

	管理作業	防除
馬鈴薯	《芽かき》10 cm程度になったら太い芽を2本残してほかの芽をかぐ。	《アブラムシ》ダントツ水溶剤 4,000倍(収穫7日前)
大根	《追肥》月に2回程度ほどこす。1本当り「A801」12g	《アブラムシ》ダントツ水溶剤 4,000倍(収穫7日前)
白菜	《追肥》結球が始まる前まで、月2回程度ほどこし、土寄せをする。1本当り「A801」12g	《べと病》リドミルゴールドMZ 1,000倍 長雨で多発するため溝掘りを行うなどして排水を良くしておく
エンドウ ソラマメ	《植付前準備》植付11月上旬 酸性土壌に弱いので播種2週間前に1㎡あたり苦土石灰150g施用し、よく耕す。播種1週間前に堆肥3kg、「A801」100gを施用し畝立てする。	《ハスモンヨトウ》 フェニックス顆粒水和剤 2,000倍
玉葱	《苗床での管理》発芽して5cm程度になったら密生部分を間引く。更に1週間後に2回目の間引きをし、最終株間を1.0~1.5cm程度にする。草丈が20~25cmになるまで育苗する。	気温が高いと発生しやすくなります。結球を始めると薬剤の効果が劣るので発生が見られたら早めの防除に努める